

生活設計・資産運用について考えるシンポジウム

主催：金融庁・四国財務局

金融庁と財務省四国財務局では、金融商品が多様化する中で生活設計・資産運用の在り方について考えていただくために、「生活設計・資産運用について考えるシンポジウム」を開催しました。

＜開催概要＞

1. 開催日時：平成22年12月18日（土） 14：00～16：30
2. 開催場所：アルファあなぶきホール（香川県県民ホール）多目的大会議室
3. 後 援：内閣府、消費者庁、文部科学省、金融広報中央委員会、香川県、高松市、香川県金融広報委員会
4. 参加者：一般応募者 197名
5. 当日のプログラム

（1）基調講演

「経済状況の変化にも対応する家計の安全な運営について」

武田 米生 氏 千葉商科大学名誉教授

（2）フレセンテーション

「金融等に関する相談状況について」

中西 光邦 氏 香川県消費生活センター所長

（3）パネルディスカッション

コーディネーター

藤沢 久美 氏 シンクタンク・ソフィアバンク副代表

パネリスト

武田 米生 氏 基調講演者

中西 光邦 氏 フレセンテーター

松原 哲裕 氏 百十四銀行常務執行役員本店営業部長

南 妙 氏 税理士、ファイナンシャルプランナー

《シンポジウムの模様》

(基調講演の模様)



武田 米生氏から、「経済状況の変化にも対応する家計の安全な運営について」と題して、高齢化が進み老後の生活設計が長くまた難しくなっているなか、自分の取れるリスクの程度を踏まえて、金融商品の特色をよく把握して、資産運用を行う必要性を分かりやすく講演していただきました。

(プレゼンテーションの模様)



中西 光邦氏から、「金融等に関する相談状況について」と題して、消費生活センターで受けた金融トラブル等の実例などを紹介いただき、その対応策等について説明していただきました。

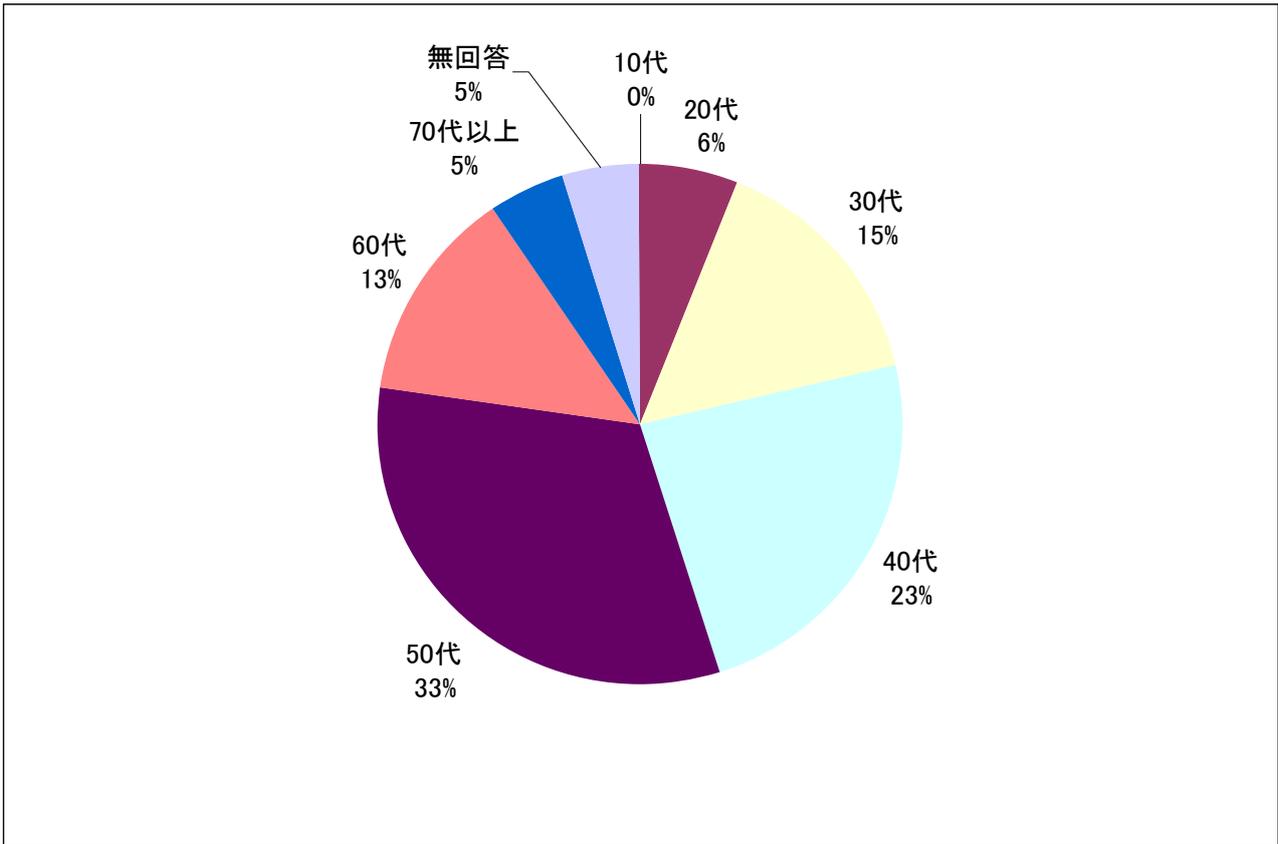
(パネルディスカッションの模様)



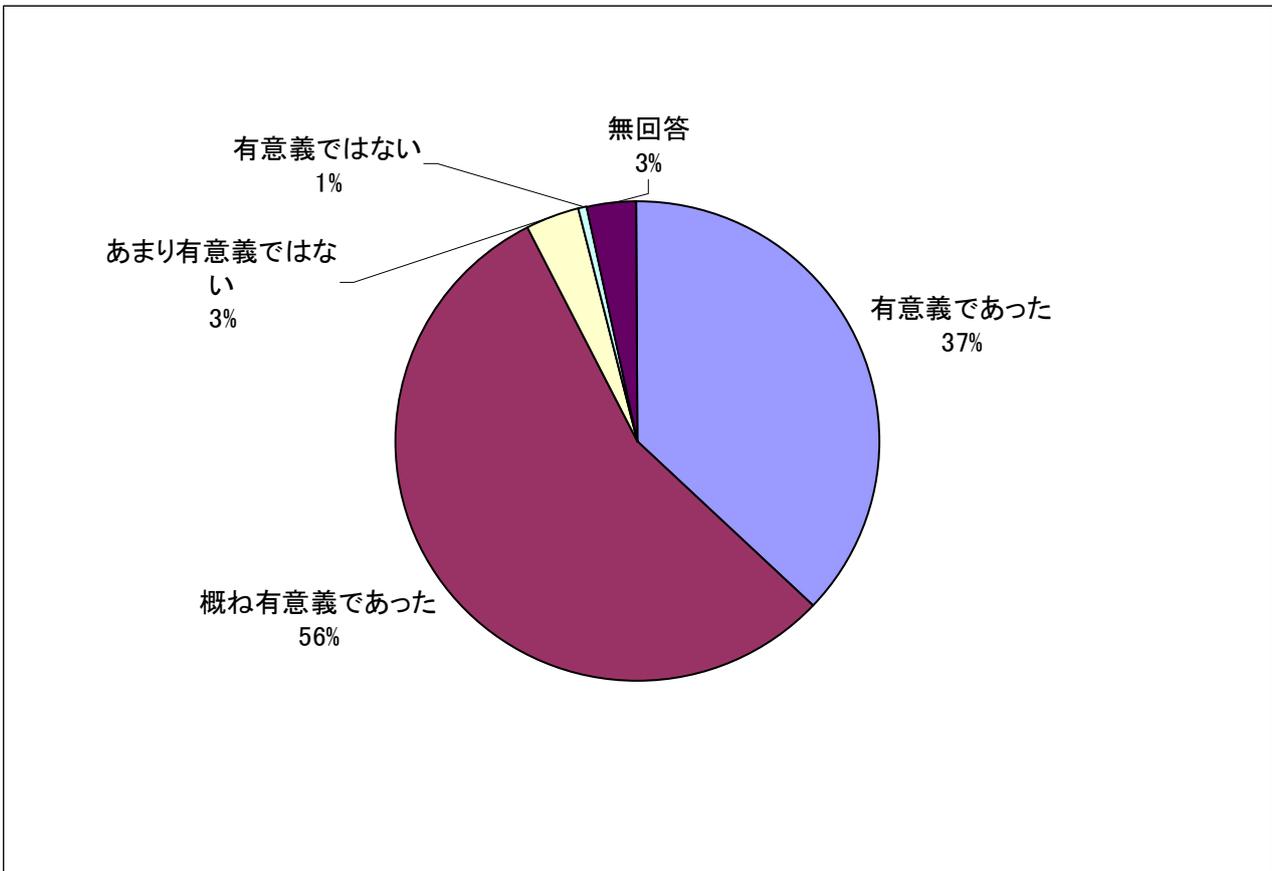
生活設計を考える上で資産運用の重要性や金融知識修得の必要性などについて、相談に来られる方の実例や自身の経験なども交えながら、資産運用の専門家や消費生活相談員、金融商品を販売している金融機関の職員などの立場から活発な議論を展開していただきました。

シンポジウムアンケート結果

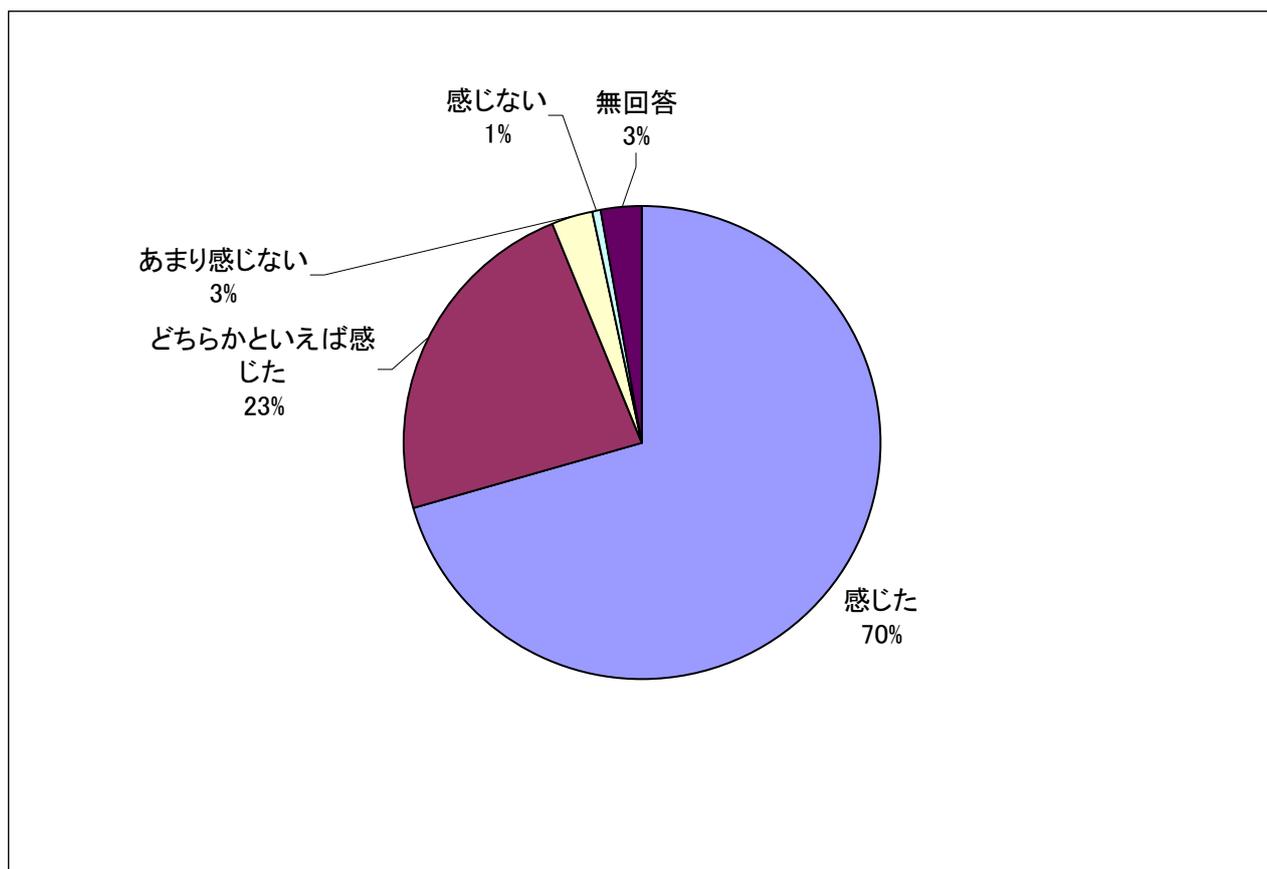
1. 年齢構成



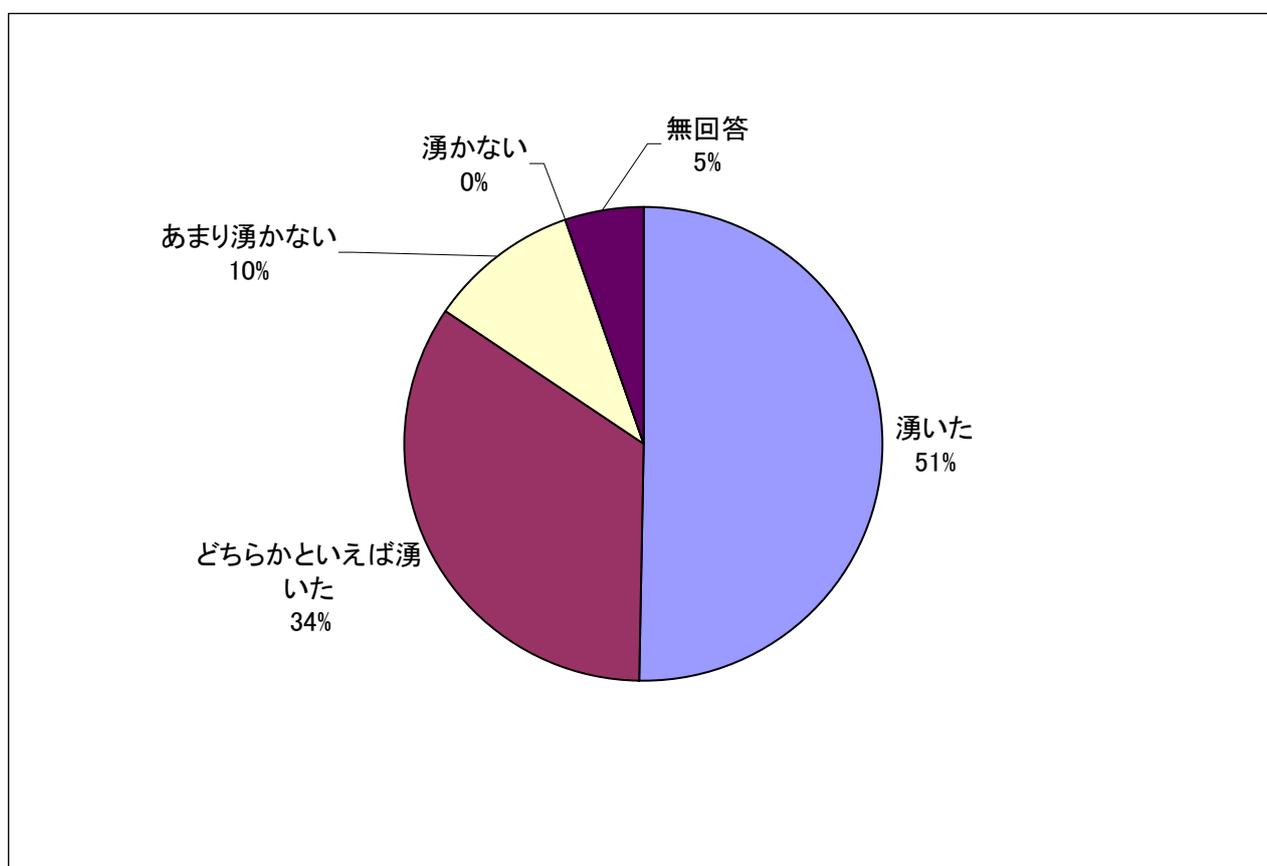
2. 本シンポジウム全体の印象について



3. 本シンポジウムに参加し、金融知識の習得が必要と感じたか



4. 本シンポジウムに参加し、生活設計等に関心が湧いたか



5. ご意見・ご感想

○主なご意見・ご感想は以下の通りです。

- ・シンポジウムに参加して、まず行動してみる事が重要だと感じた。
- ・金融への興味を一般の方が持つために有効な施策であると思った。
- ・一般個人には、もう少しやわらかいテーマがよい。
- ・あまりに一般的過ぎるくらいがあり、もう少し経済動向を踏まえた投資行動等の踏み込んだ話が聞きたかった。

他にも多数のご意見・ご感想をいただきました。